

## Spirit of Design

# 広島の こころとデザイン



数十万年前の「道具」の誕生は、ヒトを自然から切り離し「不自然」に生きるという宿命を人類に与えた。この道具は技術をもって進化し、クルマから建築、都市や社会ネットワークまでも構築してしまった。人類の進化は道具の進化と同義である。

「都市」はそんな不自然な人類が快適に生き続けるための、高い利便性に支えられた、極めて安全な「場」のはずだ。この場所が、原爆という道具によって一瞬に壊滅した。文明の災禍のみならず、自然の猛威もときに都市を破壊し、また新たな都市を再生させる。

繰り返される破壊と創造。人は何を信じてこの都市に住もうとするのか。利便性と安全性の追求が、果たして僕らの理想の場を生むのだろうか。「安心」して暮らす——そのために必要なものは、かつて決別した「自然」ではないか。自然を思考や暮らしの中心に置くこと。道具が身体の一部であるように、人も自然の一部であることを、都市はもっと考えてみた方がいい。広島は想う、いま景観に「いのち」を吹き込もう。



**GK-DSH**

発表者：山田晃三／やまだこうぞう  
株式会社GKデザイン総研広島代表取締役  
株式会社GKデザイン機構取締役  
日本インダストリアルデザイナー協会理事  
日本グッドデザイン賞審査委員

## 街の未来を描く

1



### 「明日に向かって走れ」

1995年新交通システム「アストラムライン」が開通した。6年の歳月をかけた総合デザインの思いは何か。

2



### 「75年間草木も生えない」

平和大通り2020年構想「グリーンベルベット」全長4キロの壮大なモニュメントは世界の広島を描く。

3



### 「サナギから蝶」

2000年、超低床路面電車「グリーンムーバー」が登場。なぜ、この広島に12編成ものアゲハ蝶が舞うのか。

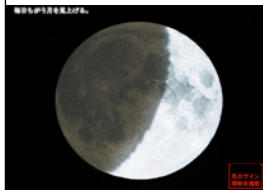
4



### 「子どもの視線」

ボンバス」は子どもたちにファンが多い。子どもたちはちゃんとモノには心があることを知っている。

5



### 「月のサイン」

駅前の釣具屋の屋上に、月のサインがある。地球よりも、「月」が意味を持つ時代を迎えているように思う。